

平成21年度事業報告書  
(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

社団法人 医療系大学間共用試験実施評価機構

[基本方針]

社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構の役割と使命は、医学・歯学等の医療関係大学において、態度・技能・知識について評価試験を実施し、医療人としての適性と能力を全国的に一定水準に確保することにある。このために、医学・歯学等の専門領域ごとに大学・学部間で共通の評価試験を実施するとともに、評価基準と成績の向上を目指すことにより、広く医療関係者と一般社会の協力を得ながら、国際的にも遜色のない優れた医療人の育成に貢献しようとするものである。

この基本方針を達成するため、下記事業を実施した。

[主な事業]

1. 共用試験CBT関連事業

(1) 平成20年度までに新たに追加、蓄積されたプール問題を用いて、2009年度後期(平成21年6月～9月)共用試験、2010年度前期(平成21年12月～平成22年3月)共用試験を実施した。

また、実施にあたっては、十分な事前説明会を行い、本機構からモニターを派遣し、適正な試験の実施を確認した。

(2) 試験問題と試験成績は本機構において厳重に管理し、詳細な統計分析を行うため組織体制の整備を行い、学生の成績は各大学ごとに返却するとともに全体成績及び分析結果を公表した。

(3) プール問題の蓄積と入れ替えのために各大学に新規問題作成を依頼し、本機構でブラッシュアップ作業を実施した。採択された新規問題は2010年度前期試験に出題した。

また、2009年度試験実施後に試験問題としての適性度を評価し、優れたプール問題の蓄積を行った。

2. 共用試験OSCE関連事業

(1) 実施済みの試験結果を基に学習・評価項目、課題と学習目標、評価表、評価基準等の標準化を進め、実施のための組織体制及びシステムを整備した。

また、各大学の実施体制の改善を支援するとともに、実施日程の調整及び実施に関する大学間の協力を支援した。

なお、実施にあたり、機構からモニター及び外部評価者を派遣し、適正な試験の実施を確認するとともに、評価の公平性、客観性、透明性を担保した。

(2) 各大学から提出された試験成績を基に全体の成績及びステーション別成績等の統計処理結果を公表した。

### 3. 調査研究・開発事業

#### (1) 調査研究事業

- ① 医学・歯学教育モデル・コア・カリキュラムの到達目標と共用試験内容の整合性についての検討を行った。
- ② CBT問題の形式と内容及びOSCE課題と評価方法等の改善のための調査・研究を行った。
- ③ 項目反応理論を用いたCBT問題の事後評価方法について調査・研究を行った。
- ④ 歯学系CBT問題の成績評価における項目反応理論導入の妥当性について調査・研究を行った。
- ⑤ OSCE評価項目の信頼性，概略評価の妥当性について調査・研究を行った。

#### (2) 開発事業

- ① CBT問題作成及び問題評価ソフト，システムチェックソフト，試験実施ソフト，成績管理ソフト等についてシステムの改善を行った。
- ② CBT試験実施システム検証のため，プレテストの準備を行った。
- ③ セット組方式変更に伴う出題管理システムの改修を行った。
- ④ CBTシステムとOSCEシステムとの受験者情報連携のための改修を行った。
- ⑤ 開発言語の変更，データベースエンジンの変更に伴う改修を開始した。
- ⑥ OSCE課題の作成，管理，出題状況などを管理するため開発したOSCE課題管理システムを改修した。
- ⑦ 発生源入力が可能となるOSCE評点入力プログラムを含めた実施管理システムの改修を行った。
- ⑧ OSCE内部・外部評価者とモニターの実績をデータベース化するためのシステム開発を開始した。
- ⑨ OSCEの評点結果をデータベース化するためのシステム開発を開始した。
- ⑩ OSCEの結果を分析，活用できるシステム開発を開始した。

### 4. 研修・出版・広報活動事業

#### (1) 研修事業

- ① 安定的にCBTを実施していくため，良質な試験問題のプールとその継続的な入れ替えが必要なことから大学教員の問題作成能力の向上を目指して問題作成ワークショップを開催した。  
また，各大学で開催している問題作成講習会等に講師として機構から委員を派遣した。
- ② OSCEの標準的な評価を行うためには，一定水準の評価者の育成が不可欠であることから，評価者認定講習会，評価者養成ワークショップを開催した。
- ③ 共用試験の円滑な実施のための全国説明会を開催した。

#### (2) 出版・広報活動事業

- ① 共用試験の導入に至った経緯，意義，経過を含めた「共用試験」案内冊子の改訂版（平成21年度）を発行し，会員大学の学生，教職員及び医療関連機関や一

般社会等へ配布した。

なお、第7版冊子には、教職員の理解と学生の学習の参考とするためにCBT例題、OSCE「学習・評価項目」及び「課題と学習目標」を掲載した。

- ② インターネット・ホームページURL <http://www.cato.umin.jp>を通じて、社団法人としての事業活動等の情報公開・提供を行った。

## 5. 国際協力事業

国際的な情報発信のために、共用試験の前提となっているモデル・コア・カリキュラムの英文化作業の準備を始めた。

## 6. 社団法人組織・活動の基盤強化を図る事業展開

前年度に引き続き、社団法人としての組織・活動の基盤強化を図るために、理事会を核とし、理事会の下部機関として次の委員会を設け活動した。

- (1) 共用試験実施委員会
- (2) 共用試験事後評価解析委員会
- (3) 共用試験制度・システム開発委員会
- (4) 共用試験広報・推進委員会

平成21年度 社団法人 医療系大学間共用試験実施評価機構会議録

| 年 月 日          | 会 議 等          | 議 事  |
|----------------|----------------|--|
| 21. 6. 9 (火)   | 理事会<br>(機構会議室) | 議題<br>① 理事長及び副理事長の選任について<br>② 平成20年度事業報告 (案) について<br>③ 平成20年度収支決算 (案) について<br>④ 役員給与規程の一部改正 (案) について<br>⑤ 職員給与規程の一部改正 (案) について<br>⑥ 平成19年度収支予算書に対する注記 (案) について |
| 21. 6. 16 (火)  | 総会<br>(機構会議室)  | 議題<br>① 平成20年度事業報告 (案) について<br>② 平成20年度収支決算 (案) について<br>③ 平成19年度収支予算書に対する注記 (案) について   |
| 21. 11. 24 (火) | 理事会<br>(機構会議室) | 議題<br>① 役員給与規程の一部改正 (案) について<br>② 職員給与規程の一部改正 (案) について   |
| 22. 3. 8 (月)   | 理事会<br>(機構会議室) | 議題<br>① 平成22年度事業計画 (案) について<br>② 平成22年度収支予算 (案) について<br>③ 役員給与規程の一部改正 (案) について<br>④ 職員給与規程の一部改正 (案) について   |
| 22. 3. 10 (水)  | 総会<br>(機構会議室)  | 議題<br>① 平成22年度事業計画 (案) について<br>② 平成22年度収支予算 (案) について   |